

2021 - 22 年度 国際ロータリーのテーマ
『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』
RI 会長 シェカール・メータ

川崎北ロータリークラブ会長の方針
『未来の川崎北ロータリークラブのために』
会長 峯岸 雅宏

Rotary
川崎北ロータリークラブ

川崎北ロータリークラブ会報



会 長 峯岸 雅宏

幹 事 松下 幸夫

会報委員長 大塚 正一

事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス 武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com

URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coccan.jp/

例会：毎週水曜日 12：30

二子玉川エクセルホテル東急

第 2966 例会

令和 4 年 2 月 16 日 (水)

(本年度第 23 回)

点 鐘

峯岸雅宏 会長

司 会

妻鹿琢生 会場監督

出席報告

会員数 48 名 出席 48 名 欠席 0 名
(対象外 0 名) 出席率 100%

お客様紹介

峯岸雅宏 会長

ゲスト・スピーカー：

川崎市市長 福田紀彦 様

川崎鷺沼 RC 小川湧三 様

会長報告

峯岸雅宏 会長

先週に引き続き、会長報告はありません。私事ですが、11月6日に開催される「ちばアクアラインマラソン 2022」に出場予定です。アクアラインを走ることができるマラソン大会で、さきぼと豊見山徹 会員にも声をかけました。

幹事報告

松下幸夫 幹事

1. 地区からの来信

ロータリー米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま」が届きましたので回覧いたします。

2. 他クラブ例会臨時変更

本日はございません

3. 例会のご案内

- ・ 2 月 23 日 (水) 祝日のため休会
- ・ 3 月 2 日 (水) 創立記念卓話：石井弘 会員
例会前 11：15 ～ 理事会
例会後 13：40 ～ 被選理事会開催

委員会報告

山川哲史 副幹事

● 第 3 回被選理事会開催のお知らせ

3 月 2 日 (水) の例会後 13：40 から二子玉川エクセル東急「テラスルーム」で行います。ご担当のかたは出席をお願いします。

卓話

川崎市市長

福田紀彦 様

テーマ：「最幸のまち 川崎」の実現へ

～次の 100 年も持続可能な都市に向けて～

「最幸のまち 川崎」というテーマではありますが、実は川崎市はただいま岐路に立っております。コロナ禍に関わる問題とは別に、脱炭素の時代が一気に到来し、「持続可能なまち」、「持続可能な都市」、「持続可能な国」に関して「脱炭素」を如何に早く実現するかということが問われております。



次の 100 年も持続可能な都市に向けて、今日は「脱炭素」と「大都市制度」をテーマにお話しさせていただきたいと思っております。

脱炭素の実現

川崎市は 2019 年「SDGs 未来都市」に選定されました。川崎市は水素への取り組みが最も進んだ都市のひとつですが、政令指定都市の中で最も CO2 を排出している都市です。76% が産業由来によるものです。石油、鉄、化学といった産業が主要な都市なので、当然 CO2 の排出量も増えていきます。

川崎臨海部では家庭用の一般電源を発電しております。830 万キロワットという圧倒的な発電量です。このうち 98.5% が火力発電によるもので、LNG (液化天然ガス) がメインになっております。再生可能エネルギーはわずか 1.47% しかありません。

臨海部を中心に様々な水素プロジェクトが進行中です。少し紹介させていただきます。

2019 年に世界で初となる実験を実現させました。ブルネイから水素を持ってきて、水素発電を行うというものです。水素を融通しあうパイプラインが川崎市内に敷設されています。使用済みのプラスチック由来の水素を昭和電工さんの工場から臨海部の羽田空港に近接する東急 REI ホテルまでパイプラインでつなぎ、その水素でホテル内の約 30% のエネルギーをカバーしています。

これからのグローバル企業はクリーンなエネルギーを供給できる場所に生産拠点を移していきます。川崎の取り組みが日本の産業界に直結すると考えています。

川崎市内には 3 か所のゴミ焼却場があります。廃棄物発電を

行っております。ごみ焼却で発生する熱を使った発電機能があります。1600万キロワットを現時点では発電しております。来年度橋処理センターをリニューアルします。高効率な発電機能で、今までの約5倍の発電量になり、2万世帯分の発電をすることになります。リニューアルにあたって市債を発行しました。政令指定都市で初めてとなるグリーンボンドを発行しました。50億円分の5年債で、即日完売というよりも瞬間的に売れました。倍率は約14倍になりました。来年度は100億円分のグリーンボンドを発行する予定です。

来年度、橋処理センターが稼働してから川崎市が出資する地域エネルギー会社を作る予定です。市内・市外から再エネを調達して、きれいなエネルギーを届けるスキームを作る予定です。民間企業も地域エネルギー会社への関心が高く、ぜひ出資・参加したいという声をいただいております。何十年か振りになる、市が出資する法人です。

もうひとつの取り組みは、100%プラリサイクル都市です。プラスチックのゴミはおおまかに分けてふたつございます。プラスチック製容器包装など、プラマークが付いているものが70%を占めております。問題はリサイクルに出されているものが4割以下ということです。もうひとつは製品プラスチックと呼ばれるもので、プラマークがついておりません。一般ゴミとして出されて、そのまま焼却されています。川崎市内のリサイクルの方法はふたつに分けられます。マテリアルリサイクルは、原材料を細かくくんで、違う製品に変えるというものです。例えば選挙のポスター看板への再利用などです。ケミカルリサイクルは、科学的な処理をして、原材料に戻すというかたちをとります。ペットボトルからペットボトルに、また衣服にもなっております。川崎市内にはリサイクラーと呼ばれる、こういったことを行う事業者が沢山あります。ペットボトルでいうと川崎市内で排出される7倍の処理能力を持っております。プラスチック製容器包装リサイクルでは14倍の処理能力があります。川崎市内で出されたゴミは市内で処理する循環を作りたいと思っております。溝の口周辺で実証実験を行いました。プラスチック製品もリサイクル対象として一括回収するということです。この実験でプラスチックの回収率が23%上がりました。これからは一括回収への取り組みを行いたいと思っております。

大都市制度

明治維新以来、人口は産業が集中するところに移動していききました。明治中頃に新潟県の人口が最多だったのは、基幹作業が農業だったということを示しています。

1900年から1920年にかけて産業革命が起こり、大都市に人口が過度に流入してきました。東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸などの大都市に集中し、これらの都市では業務が集中し、二重行政を避けるために府県からの独立を望みましたが府県の反対で頓挫しました。

1956年に指定都市制度が整備されました。ただ、これは妥協の産物でもあり、府県からの独立はかありませんでした。川崎市は1972年に政令指定都市になりました。中途半端なこの制度は現在も続いています。

1990年代から地方分権改革が2回行われました。1回目では国と地方が上下から対等の関係に法律上はなりました。2回目では道府県からの事務権限の委譲が行われました。例えば、武蔵小杉の都市計画決定が市に委譲されたことにより、地域の実情に即した計画が迅速に決定されました。

また、医療難病認定を市が行えることにより、半分の申請期間での認定が可能になりました。行政サービスが迅速になるというのがメリットのひとつです。

神奈川県は3つの政令指定都市を抱えています。神奈川県では65%の住民が政令指定都市の住民です。財政面では川崎市民が神奈川県の負担をすることになります。県からの補助金も格差があります。特別自治市になると、より良い仕事ができます。就労支援も効率的に行えることになると思っています。その他コロナワクチンなど迅速に実施すべき課題への対応や教育現場でも地域の実情に即した対応が可能になると考えています。

昨年末、政令指定都市が集まって、大都市制度の実現に向けて取組を進めることになりました。今後も持続可能な自治体を作っていきたいと思っております。

ニコニコレポート 松田卓也 副会場監督

川崎鷺沼 RC 小川湧三 君

お世話になります。

峯岸雅宏 会長、米山元章 副会長、松下幸夫 幹事

今日は福田市長の卓話です。このコロナ禍にもかかわらず来場頂き、ありがとうございます。宜しく願い致します。

川野正久 君

福田市長の卓話楽しみにしておりました。よろしく願いいたします。

武田信平 君

先週12日に富士フィルム・スーパーカップが行われ、フロンターレは浦和レッズに0対2で敗れました。ボールを保持することはできるものの最後の崩しのパスが出せずチャンスを作ることができませんでした。今週18日にはリーグ戦が開幕します。相手はFC東京。この一週間で立て直してベストの状態に臨んで欲しいと思います。

ビール同好会：柳澤信夫 君、生垣繁 君、大部哲也 君、洪征治 君、戸川俊雄 君

福田市長ようこそおいでくださいました。本日の卓話楽しみにしております。よろしく願いします。

プログラム委員会：松田卓也 君、帯谷昌充 君、武田信平 君、クルーズ由美子 君、妻鹿琢生 君、鈴木拓朗 君

昨年10月に3回目の当選を果たされた福田市長に卓話をお願いしましたところ、議会中で大変お忙しいにも関わらず、快くお引き受けをして頂きました。ご来会誠に有難うございます。市長は「最幸のまち川崎」を標榜されています。最幸は最も幸せと書きますが、その「最幸のまち川崎」の実現に向けて、如何に舵取りをしていくのかについてお話しを頂けることになりました。我々にとって大変興味のあるテーマであり、心を弾ませて拝聴したいと思っております。宜しく願い致します。

親睦委員会：大塚正一 君、半澤剛 君、谷口一成 君、朝山浩 君、高橋純司 君、丸山久 君、横山芳春 君、星野将史 君、齊木貴 君、末永直 君

川崎市長 福田紀彦様 本日は卓話を楽しみにしております。